

平成28年度 防災検討委員会・地区防災会 事業報告

1 事業の総括

当年度の方針として、「前段図上訓練の実施」並びに「防災組織の完整」に鋭意努め、前者については所期の目的を達成し得たが、後者については全く進展することができず、早急の施策が必要である。

斯かる状況から、「我がことの安心・安全確保を根源とした意識」のもと、吉敷地域を挙げて、防災組織の充実強化に取り組むことが喫緊の課題である。

2 主要事業

- (1) 前段図上訓練、同成果の要約
- (2) 他地区防災訓練等視察
- (3) 各種防災研修への参加
- (4) 諸行事を通じた防災啓発
- (5) 先進地区等からの防災資料の収集

付紙 平成28年度防災事業等実施状況

3 主要事業の成果

- (1) 前段図上訓練による地域の防災特性の把握
各自治会・町内会連絡員を包含した委員により前段図上訓練を実施し、地区内防災上の要点を把握し、今後の実動訓練への資を得た。
- (2) 諸行事を通じた防災啓発
平成28年9月1日～10月31日の間、山口県民活動支援センター、山口大学防災教室ピピットと連携し、防長青年館において防災展示コーナーを開設すると共に11月期吉敷ふるさとまつりにおいて防災備品を展示し地域住民の防災意識の啓発に努めた。
- (3) 会議等の開催
吉敷地区防災会2回、同防災検討委員会6回等、計画的に実施し、効率的な事業運営を図った。
- (4) 防災研修等
広島県廿日市市四季が丘防災会及び岩国防災学習館研修等13回に亘り計画・参加し防災関係者の基礎的識能の向上に努めた。
- (5) 防災資料の収集
防災活動顕著な地区熊本市、総社市、茨木市、四国中央市からの協力を受け、被災写真、防災活動女性参画資料及び防災人材資料等、今後に向かい有要な防災資料を収集した。

4 防災主要課題

- (1) 地域一体の防災組織づくり
- (2) 防災資機材の充足
- (3) 防災活動の補完的対応体制
- (4) 防災関係者の識能の向上
- (5) 要援護者の把握及び避難誘導等施策
- (6) 地域全般、安全意識の払拭